

令和5年度一般会計予算、令和5年度特別会計予算及び令和5年度政府関係
機関予算につき撤回のうえ編成替えを求めるの動議提案理由説明

令和5年2月28日

国民民主党・無所属クラブ

私は、国民民主党・無所属クラブを代表し、ただいま議題となりました政府提出の令和5年度予算3案を撤回のうえ編成替えを求めるの動議に関して、その趣旨を御説明いたします。

まずは編成替えを求める理由を申し述べます。

我が国は「長期にわたり停滞する経済」「止まらない少子化傾向」という深刻な問題に直面しています。これらを改善、解決するためには、「給料が上がる経済」に資する予算、「人づくり」に資する子ども・子育て政策関連の予算を編成しなければなりません。

また、ガソリン・軽油価格、電気料金等が高騰し、国民生活は大きな影響を受けているため、国民生活を支える予算編成が必要です。

よって、国民民主党・無所属クラブは、我が国の給料が上がらない経済、脆弱な少子化・子育て支援策、ガソリン、電気、ガス等の価格高騰に対処し真に国民生活を支える内容に、令和5年度予算を変えるため、予算の編成替え動議を提案いたします。

次に編成替えの概要をご説明致します。

第一に、賃上げ税制の見直しを実施します。予算案に連動した税制を見直し、賃上げ税制に関しては赤字企業・事業者が賃上げ原資を確保できるようにするため、法人税に加え法人事業税や固定資産税もその対象に含む内容に修正します。

第二に、子育て支援を拡充します。児童手当をはじめとした子ども・子育て支援における公的給付の所得制限を撤廃するとともに、岸田総理が就任時に公言した「子ども予算倍増」の内容に修正します。

とりわけ、障害児福祉に関する公的給付の所得制限は早急に撤廃します。

第三に、ガソリン減税と電気、LP ガス代値下げを実施します。実現のためにガソリン・軽油のトリガー条項の凍結を解除します。また、電気料金に上乗せされている再生可能エネルギー発電促進賦課金の徴収を停止します。地方において重要なインフラとなっている LP ガスについても所要の対策を講じます。

また、インフレ手当の支給を行います。物価高騰から家計を守るため、「インフレ手当」として一律 10 万円の現金給付を行います。

第四に、インボイス制度導入延期等を含む所要の対策を講じます。景気対策として当分の間、消費税率を 10% から 5% へ引き下げるとともに、単一税率に戻し、今年 10 月に予定されているインボイス制度について、導入延期を前提にした予算案及び税制法案に修正します。

第五に、我が国の構造的な問題を解決するために 5 点の対策を講じます。一点目は、労働力不足、女性の社会進出の障害となっている「年収の壁」問題について、現行制度の正確な理解を促すとともに、「年収の壁」を超えて労働する場合の収入減少分を穴埋めする給付として『「年収の壁」突破給付』を導入する内容に修正します。

二点目は、税負担の公平性確保の観点から「1億円の壁」問題を改善するため、金融所得の総合課税を含む所要の措置を講じる内容に修正します。

三点目は、教育国債発行により財源を確保し、教育など人づくりのための予算及びデジタル化・カーボンニュートラルを柱として科学技術関係予算を倍増する内容に修正します。

四点目に、防衛力強化には賛成するが、その財源として増税方針を組み込んでいる点を修正します。少なくとも、「持続的な賃上げが定着する経済社会状況」が実現するまでの間、増税はしない方針を盛り込んだ内容に修正します。

五点目に、日銀保有国債の一部永久国債化、外為特会の一般会計への繰り入れ等により、財源を多様化するとともに、予備費縮減・決算剰余金の透明化等により、財政規律を強化する内容に修正します。

以上が国民民主党・無所属クラブの編成替え案の概要であります。委員の皆様におかれましては、真に国民生活を支える本動議に賛成していただくことをお願いして、提案理由説明といたします。

以上